

「日本ヒーブ協議会からのメッセージ」

新型コロナウイルス感染症(の蔓延)によって、だれもがこれまでの組織のあり方を再考しました。

コロナは、従来型から脱して未来につながる組織に変わる、学びと進化の機会を与えてくれたのかもしれない。

これからの社会に価値を生む“進化する組織”へ

それはきっと、それぞれの幸せがシナジーを起こし、多様な個々が力を発揮できる心理的安全性に満ちた場になるはず…。

そして、誰もがその起点になるために、ぜひ一緒に学びましょう!



国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業とは?

内閣府、男女共同参画推進連携会議は男女共同参画に関する理解を深めるため、会議構成団体のパートナーシップにより、全国各地で様々なシンポジウムを開催しています。

内閣府 男女共同参画推進連携合本とは?

男女共同参画社会づくりに関し広く世界各層との情報・意見交換その他の必要な連携を図り、国民的な取り組みを推進するため、

平成8年9月3日「男女共同参画推進連携会議」が発足しました。

現在、18名の有識者と97の団体から推薦された方々で構成されています。

男女共同参画推進連携会議では、政府の施策や国際的な動きについての情報提供を行うなど、男女共同参画社会の実現に向けた取組を積極的に推進しています。

ポストコロナの “進化する幸せ組織”の 起点になろう!

オンラインシンポジウム

ポストコロナで大きく注目される“進化する幸せ組織”
世の中が大きく変化するこんなときだからこそ、
幸せイノベーションの起点になるチャンスです!



日時 2021年1月21日【木】 14:00～16:45
【開場13:30】

会場 Zoomによるオンラインでのご参加
※事前にZoomのインストールをお願いします。

【主催】



内閣府



【後援】

大阪府、神戸市、一般社団法人日本経済団体連合会、
公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)、
公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)
公益社団法人全国消費生活相談員協会

プログラム

開会挨拶 14:00~14:15

林 伴子 内閣府 男女共同参画局長
吉村 美衣子 (一社)日本ヒーブ協議会 代表理事

第1部 基調講演 14:15~14:55

『ポストコロナの“進化する幸せ組織”
~チームdotから学ぶこれからの組織』

講師：齊藤 徹氏 ビジネス・ブレークスルー大学経営学部教授
株式会社ループス・コミュニケーションズ代表取締役

第2部 パネルディスカッション 15:10~16:25

『ポストコロナで“進化する幸せ組織”の起点になるために
明日からのアクションのためにそのキモをゲットしよう!!!』

コーディネーター

齊藤 徹氏

パネリスト

富田 侑希氏

株式会社dot / チームdot 代表

菅根 秀一氏

アサヒ飲料株式会社
マーケティング本部 宣伝部 副部長

脇田 真知氏

一般財団法人サンスター財団 企画室/
一般社団法人日本ヒーブ協議会 理事

グラフィック
レコーディング

本園 大介氏

グラフィックコミュニケーター

閉会 16:45

講師プロフィール



【コーディネーター】
齊藤 徹氏 ビジネス・ブレークスルー大学経営学部教授
株式会社ループス・コミュニケーションズ代表取締役

1985年、日本IBM株式会社入社。29歳で日本IBMを退職。1991年2月、株式会社フレックスファームを創業し、ベンチャーの世界に飛び込む。2005年7月、株式会社ループス・コミュニケーションズを創業し、ソーシャルメディアのビジネス活用に関するコンサルティング事業を幅広く展開。2016年に学習院大学経済学部の特別客員教授に就任。2020年にビジネス・ブレークスルー大学教授に就任。30年近い起業家経験をいかし、Z世代の若者たちとともに、実践的な学びの場、幸せ視点の経営学を広めている



【登壇者】
富田 侑希氏 株式会社dot / チームdot 代表

大学3年時に学習院大学客員教授として来ていた起業家の齊藤徹さんの授業をきっかけに、Z世代が集まるチームdotで活動を開始。Z世代会議、インターン設計、チームグラレコなどZ世代ならではの事業を生み出しながら、dotの由来である「draw out our talent~みんなの才能を引き出しあおう~」を実現すべく、日々意欲的に活動中



【登壇者】
菅根 秀一氏 アサヒ飲料株式会社 マーケティング本部 宣伝部 副部長

1996年カルピス株式会社入社。その後、味の素株式会社出向を経て、現在、アサヒ飲料株式会社宣伝部にて各ブランドのクリエイティブからメディアバイイングやパッケージデザイン開発を統括



【登壇者】
脇田 真知氏 一般財団法人サンスター財団 企画室/一般社団法人日本ヒーブ協議会 理事

サンスター株式会社を経て、現在、一般財団法人サンスター財団にて戦略情報や新規事業推進等を担当、一般社団法人日本ヒーブ協議会で得たことを活かしながら活動している。ヒーブ協議会では40周年に描いた10年後を視野に「ヒーブInnovationアクション」を具体化中



【グラフィックレコーディング】
本園 大介氏 グラフィックコミュニケーター

現在は企業人として働く傍ら、グラフィックを使った様々な活動を通じたパラレルキャリアを実践中。年間150件以上のグラフィックレコーディングを中心とした活動をし、オンライン講座「school」の講師を始め、講座では延べ8,000人以上を教えた実績を持つ